



「梅雨」と書いて「つゆ」と読む初夏の長雨。中国の長江（揚子江）流域で梅の実が熟す頃の雨を「梅雨（メイウ）」と呼び、それが日本に伝わったと言われています。「つゆ」と読むようになったのは江戸時代のこと。その起源は「露」の連想であるとか、梅の実が熟してつぶれる「潰ゆ（ついゆ）」からきているなどの説があります。また、西日本と東日本では「梅雨」の性格が違います。西日本ではダイナミックな「ラテン系」とでもいうか、熱帯地方の「スコール」のような激しい雨が降り、「陽性梅雨」と呼ばれています。一方、東日本ではより「日本的」「情緒的」なしとしとと降ったり止んだりの雨で、「陰性梅雨」と呼ばれています。小さな島国の日本の雨にもこんな違いがあるのです。～和の行事ブックより～



◆ お願い ◆

水の恋しい季節となりました。マックスバリュの南側には、鯉の住む水路もあり、お散歩や登降園の際の、潤いのスポットとなっています。しかし、残念なことに、近隣の方より、水路のガードに足をかけたり、草を投げ入れたりする姿を見ることがあるとのご注意をいただきました。草などは、水の循環を妨げる原因となり、鯉の健康を害することにもつながります。また、浅い水路とはいえ、危険な事故につながる可能性もあります。もともと、水路が出来た時、鯉の放流をさせていただいたのは、みみょう幼稚園の子どもたちでした。地域の大切な場所として、これからも長く親しんでいくために、みんなで気配りや注意をしていきましょう。



令和元年 6月の園だより



野菜の栽培を通して

初夏というよりは真夏という方が頷けるほど、日中には暑くなる日もあります。暑さへの対処方法をしっかり行いながら、子どもたちに外あそびを楽しませていきたいと思えます。

さて、新年度が始まって2か月が過ぎ、笑顔で登園して来る子どもが増えて来ました。朝、声をかけると「おはようございます」の爽やかな挨拶を返してくれます。

先日の参観日では、子どもたちが保育園でどんな環境の中で過ごしているのかを見たり、感じたりしていただけたと思います。子どもたちと一緒に作ったり、試したり、触れ合ったり、身体を動かしたりなど、楽しく保育に参加もしていただき、保護者の方の笑顔もたくさん見ることができました。ありがとうございました。子どもの目線で物を見ることや、「たのしい！」を共感することで、子どもにとっても、大人にとっても心地の良い時間が過ごせたのではないのでしょうか。「みる」ことで安心していただけますし、疑問も生まれてくることではないのでしょうか。その疑問をそのままにしておくのではなく、些細なことでも職員にお話しいただけるような、そんな関係性を作っていきたいと思えます。きっぷノートアプリで、全学年の保育参観の様子を配信しました。わが子だけでなく、他の学年の子どもにも目を向けていただくことで、年長組になるとこんなことが考えられるようになるんだな、など子どもの成長や保育園での活動への見通しを持っていただきたいと思えます。見通しを持つことによって、子どもとゆとりを持って関わることにもなります。

5月の連休明けに、年長組さんが野菜の苗植えや種まきを体験しました。どんな野菜を植えるのか、食べたことのある野菜の名前をたくさん出し合って決めました。園庭の小さな畑と一緒に耕したり、プランターなどに土を入れ、種まきの準備もしました。凶鑑などでも調べ、種を蒔いても、すぐに芽は出てこないことで野菜ができるまでには時間がかかることを知りました。野菜の苗を畑に植え替える前に苗がしおれているのを見つけた子が「水あげるの忘れたんじゃない？」と呟きました。その後、水をあげると、また元気な苗に戻りました。野菜を作るには何が必要なのかも実体験により学んでいるのです。

5月の幼児クラスの誕生会では「夏にできる野菜はどれかな」「この種は何の野菜の種でしょう」などの野菜クイズを楽しみました。クイズの答えは、年長組さんが「野菜博士」となり、得意そうに自信を持って、教えていました。野菜作りが年長組さんだけの活動にならず、他の学年の子どもたちも興味、関心が広がるように考えていきたいと思えます。小さい頃から食べ物にしっかりと向き合い、味わうことで観察力や思考力など様々な力が育ちます。野菜を収穫し、クッキングすることで、食事を毎日作ってくれる人や食べ物への感謝を実感してほしいと思えます。親子で周りの自然に目を向けていただき、小さな発見、会話を楽しんでください。

6月は運動会があります。日頃のあそびが運動会でのあそびや表現につながっています。子どもたちと保護者の方の笑顔がいっぱいの運動会になればと思っています。

園 長

歯を大切にしよう！

『6月4日～10日は歯の衛生週間』です。子どもたちの歯を虫歯から守りましょう！

- * 丈夫な歯で、よくかんで食べることは、健康なからだをつくる上でとても大切なことです。虫歯にならないように歯磨きをしましょう！それでも虫歯になったら早めの治療をしてあげてください。
- * 歯のはたらき
 - 食べ物を噛み消化を助ける
 - ことばが正しく発音できるよう助ける
 - 顔の形を整え、あごの発育を助け、かむことで脳の発達を促す
 - 永久歯が正しく生えかわるときの場所のガイドになる



子育てメッセージ

こどもたちが それぞれに 自分の芽を 息吹かせられるように 大人は 豊かで あたたかい 土でありたい

ある農家の話。その人は、野菜が本来持っている味を最大限に引き出すために、野菜の種類に合わせて「今年こそは、きつといい土を作って見せる」とがんばっているのだそうです。子どもが本来持っているものを最大限に引き出して育てるために、大人自身が豊かで、あたたかい土でありたいと思えます。



日頃から危険箇所・避難場所を把握して、風水害に備えましょう。

お問い合わせ 南消防署警防課

電話 261-5181